

ERE information

Vol.36 2019年9月13日発行

発行／特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者／勅使河原 豊
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3 番21号／電話(03)3267-4819／http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第36回経済学検定試験：『ERE／EREミクロ・マクロ』の応募者数 7月試験で過去最多！
—— 『ERE』『EREミクロ・マクロ』ともに、平均点が低下——
- ▶第31回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」：創価大学「経済学理論同好会A」チームが3連覇！
- ▶「大学対抗戦」優勝チームを表彰
 - ・毎週日曜日を用いた勉強会で、経済理論の理解を深めて！（優勝チーム 大槻健一さん）
 - ・みんなで教えあうアクティブラーニングが功を奏して！（準優勝チーム 木場渉吾さん）
 - ・チームのメンバーとの学びの場が、最高の結果に！（個人賞トップ 後藤佑太さん）
- ▶委託会場制度利用のご案内
- ▶経済学検定CBT『EREミクロ・マクロ』試験の実施について
- ▶CBT『EREミクロ・マクロ』試験への移行と『ERE』試験の休止について
- ▶CBT『EREミクロ・マクロ』大学対抗戦について
- ▶第37回ERE実施要領
- ▶第32回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！

《第36回経済学検定試験》

『ERE／EREミクロ・マクロ』の応募者数 7月試験で過去最多！
『ERE』『EREミクロ・マクロ』ともに、平均点が低下

2019年7月7日（日）に実施いたしました第36回ERE、EREミクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回のEREとEREミクロ・マクロの合計応募者数は1,738名で、7月実施試験の応募者数として過去最多となりました。また、前回試験（第35回2018年12月実施）の合計応募者数（1,772名）には及ばないものの、過去2番目に多い応募者数となりました。EREミクロ・マクロの応募者数は、1,685名で、こちらも過去2番目に多い応募者数となっております。特に応募者が多かったのは、追手門学院大学の405名、明海大学の270名でした。

成績概要は＜資料1・2＞のとおりです。EREの平均点は、前回は16.0点下回る406.4点、EREミクロ・マクロの平均点も前回は22.5点下回る181.8点となりました。

《資料1-1》科目別成績『ERE』

科 目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配 点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平 均 点	116.8点	108.9点	56.8点	44.6点	44.3点	35.0点
(前 回)	120.7点	132.6点	47.2点	42.6点	43.6点	35.7点
標準偏差	41.06点	32.11点	15.13点	22.75点	15.45点	16.58点
(前 回)	34.23点	33.45点	21.64点	18.90点	23.39点	17.03点

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	92.8点	89.0点
(前回)	100.6点	103.7点
標準偏差	45.59点	42.44点
(前回)	44.50点	38.84点

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	53名	1,685名
受験者数	28名	1,267名
平均点	406.4点	181.8点
標準偏差	85.78点	81.10点
最高得点	570点	470点
最低得点	290点	40点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	追手門学院大学	405	15	宇都宮大学	12
2	明海大学	270	16	関東学院大学	11
3	麗澤大学	70	17	青山学院大学	10
4	日本大学	58	18	明治大学	9
5	龍谷大学	39	19	名古屋学院大学	8
6	武蔵野大学	32	20	大分大学	7
6	大阪産業大学	32	20	立命館大学	7
8	国際教育交流基金	26	20	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	7
9	立正大学	25	23	長崎大学	4
10	創価大学	24	24	福島大学	3
10	岡山商科大学	24	24	新潟産業大学	3
12	専修大学	21	26	広島修道大学	2
13	九州産業大学	19	27	熊本学園大学	1
14	高崎経済大学	16			
				個人	593

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」＋「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1			鈴木 将之	S
2	創価大学	経済学部	岡崎 健太	A+
3			清水 邦敏	A+
4			出井 湧也	A
5	前川公認会計士事務所	所長	前川 克博	A
6			青木 健翔	B+
6	株式会社政策基礎研究所		山根 啓太	B+
6			長坂 高男	B+
9			菅野 浩太郎	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	岡山商科大学	経済学部	銭 テイテイ	S
2			甘 梓 晨	S
2			黄 同 舟	S
2	創価大学	経済学部経済学科	趙 越	S
2	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	母 棟 源	S
6			叶 子	S

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名 (敬称略)	ランク
6			張 茂 軒	S
6			WEI SHENGHUI	S
9			ZHU JIAWEN	S
9			MA YAKUN	S
9			CHEN QICHUAN	S
9			佐 藤 周 磨	S
9	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	叶 カイ哲	S
14			陳 煬	S
14			周 中 立	S
14			廖 宇 龍	S
17			FAN XIUYUAN	S
17			CHEN QIAN	S
17	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	張 明 睿	S
20			林 一 静	S
20			KONG XIANGWEI	S
20	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	肖 怡 然	S
23			LU JIANI	S
23			NI QINOOU	S
23			ZENG GUANGYI	S
23			谷 峻 旭	S
23			鄒 錦 岸	S
28			JIN YATING	S
28			LI CHEN	S
28			WANG JIANAN	S
28			MENG XUANZHU	S
28			木 野 快 斗	S
28			柴 元 森	S
28			LI LINGHAN	S
28			CHEN YONGQIN	S
36			PAN JITONG	S
36			王 者 詩	S
36			GU WENQIAN	S
36			YANG PEIYI	S
36			吳 相 怡	S
36			HONG SHUO	S
36			丁 海 嵩	S
36	創価大学	経済学部	後 藤 佑 太	S
36			許 景 翰	S
36	創価大学	経済学部経済学科	陸 詩 楽	S
36	一般財団法人・国際教育交流基金	行知学園日本語学校	刘 菁	S
36	岡山商科大学	経済学部	郭 紹 洋	S

《第31回 ERE ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

創価大学「経済学理論同好会 A」チームが3連覇！

準優勝も創価大学「経済学理論同好会 B」チーム／個人賞トップは後藤佑太さん

第31回 ERE ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、8校15チーム、計109名で競われました。

優勝は、創価大学「経済学理論同好会 A」チームでした。1,490点を獲得して、第29回（2018年7月1日実施）、第30回（2018年12月2日実施）に引き続いての優勝となりました。準優勝も1,380点を獲得した創価大学「経済学理論同好会 B」チームとなりました。第3位には、1,290点を獲得した大阪産業大学の「上級キャリアコース A」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、380点を得点した創価大学「経済学理論同好会 A」チームの後藤佑太さんです。なお、個人賞は340人以上11名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は241.50点で、前回と同得点でした。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	経済学理論同好会 A	創価大学	1,490点	372.5点
準優勝	経済学理論同好会 B	創価大学	1,380点	345.0点
第3位	上級キャリアコース A	大阪産業大学	1,290点	322.5点

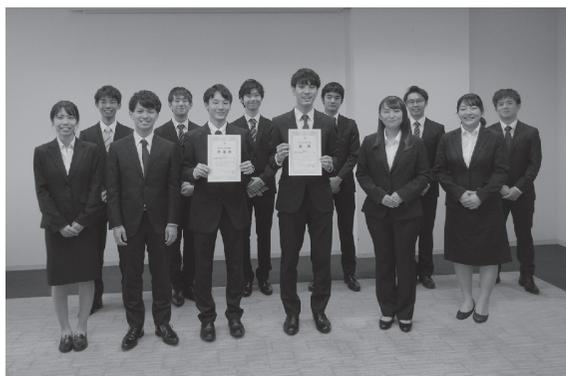
※参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4位までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

《「大学対抗戦」優勝チームを表彰》

3連覇の創価大学「経済学理論同好会」を表彰！

創価大学「経済学理論同好会 A」チームは、前回（第30回（2018年12月2日実施））に引き続いての大学対抗戦3連覇の栄冠を獲得いたしました。

去る8月26日（月）、優勝した創価大学「経済学理論同好会 A」チーム、準優勝の「経済学理論同好会 B」チームを日本経済学教育協会事務局が訪問し、表彰をいたしました。当日は、優勝した創価大学「経済学理論同好会」のAチーム、Bチームのメンバー（写真）、経済学部長の勘坂先生や学部事務長をはじめとする先生方など多くの関係者の出席のもと行われました。



創価大学「経済学理論同好会」チームのメンバー

創価大学は、第8回（2007年12月2日実施）から第18回（2012年12月2日実施）まで11連覇を達成した実績があります。今回の優勝メンバーは、第30回優勝時のメンバーに加え、前回第3位に入賞したときのメンバー、特に今回の大学対抗戦で唯一Sランクを獲得した後藤佑太さんが加わり、第2期黄金時代を築いた感があります。次回も「大学対抗戦」に挑戦していただき、チームの4連覇を期待しています。

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝 創価大学「経済学理論同好会A」

毎週日曜日を用いた勉強会で、経済理論の理解を深めて！

この度は、第31回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において、前回、前々回に続いて3連覇を達成することができ、「経済学理論同好会」一同大変嬉しく思っています。今回の挑戦にあたって、様々なご支援を頂いた大学関係者の皆様、先輩方、後輩、そして共に研鑽してきた仲間達には、感謝の念に堪えません。

今回私達は、3年生1チーム、2年生1チームの計2チームで大学対抗戦に出場致しました。新しく挑戦するメンバーも多いため、優勝を狙うだけではなく、個々人の経済理論の理解を深めることを目標に日々の学習を続けてきました。

主な学習の方法は、毎週日曜日を用いた勉強会です。過去問を用いて積極的に問題を解き、誤答した問題について解法だけでなく、どうしてそうなるのかまで考えて解説することを繰り返しました。これにより表面上だけでなく深部まで理解できたことで、基礎から応用まで幅広く対応することができるようになりました。

今回の挑戦と優勝を通して得た学びを忘れずに、今後の活動に尽力してまいります。

(創価大学 経済学理論同好会A 大槻健一さん)

☆準優勝 創価大学「経済学理論同好会B」

みんなで教えあうアクティブラーニングが功を奏して！

今回、準優勝という結果を出すことができ、本当に嬉しく思います。この準優勝は、チームのメンバーはもちろんのこと、先輩や後輩などのサポートや教授や家族などのサポートがあったからこそのことだと思っています。サポートしてくださったすべての方々に感謝しています。また、12月に実施される次回の第32回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」では、自分たちのチームで優勝を勝ち取ることできるよう、これからもチーム一丸となって勉学に励んでいきたいと思っています。

私たちの団体では、大学や経済学理論同好会で学んでいる経済学がどれだけ理解できているのか、どれだけ自分達の身に付いているのかを測ることとともに、団体優勝を目指して、ERE試験を受験しています。

私たちは週1回、みんなで教えあうアクティブラーニングを主体とする勉強会を開いて、個人で苦手とする分野に集中して日々の勉学に励みました。理解している者が理解していない者に教えることにより、双方の理解が深まるとともに個人間でのつながりも強くなったと思います。また、誰もわからないときは、お互いの考え方や発想をぶつけ合い、わからないことをわからないままにしないことをモットーに学習しています。

(創価大学 経済学理論同好会B 木場渉吾さん)

☆個人賞トップ

チームのメンバーとの学びの場が、最高の結果に！

この度は、第31回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において、本学の3連覇、並びに個人賞トップを獲得させていただき大変嬉しく思います。本学の創立者をはじめ日頃から応援してくださった皆様にこの場をお借りして心から御礼申し上げます。

チームのメンバーと学び合う中で、一緒に成長しようとの励まし合いの雰囲気が生まれ、切磋琢磨することで経済学の理解がより深まったと思います。尊敬するメンバーがいたからこそ、最高の結果を収めることが出来たと思います。

経済という言葉の起源は、経世済民(世を治め、民を救い、導くこと)にあるとされています。経済学を学ぶことは、民衆の幸福のために、目指すべき社会をいかに建設し、運営していくべきかという問いと向き合うことだといえます。また、本学の創立者は、価値を創造し、人類に還元していくことが創価大学の本来の使命であるとおっしゃっています。今回の結果に慢心することなく、EREを通じて学んだことをさらに深め社会に還元していきたいと思っています。

(創価大学 経済学理論同好会A 後藤佑太さん)

▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に11の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております、少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eミクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規程』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続きにより採点し、成績結果を通知します。

●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用F D願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail:info@ere.or.jp

経済学検定 CBT『EREミクロ・マクロ』試験の実施について

経済学検定試験は、2019年5月より、個人申込みを先行して、『EREミクロ・マクロ』試験をCBT (Computer Based Testing) 方式により実施していますが、2019年10月を目途に団体受験による受付も開始いたします。

詳細は、ご案内文書の送付や当会ホームページに掲載しますが、概要は次のようになります。

■CBT『EREミクロ・マクロ』試験の概要■

・出題科目と出題範囲

<ミクロ経済学 (25問) >

選好と効用、最大化・最小化、需要の変化、異時点間代替、余暇、指数その他、短期企業行動、長期企業行動、利潤最大化、部分均衡、均衡の安定性、余剰分析・その他、一般均衡、厚生、公共財、外部性、独占、寡占・その他、不確実性、情報の非対称性、同時手番ゲーム、展開型ゲーム

<マクロ経済学 (25問) >

経済統計、消費、投資、労働市場、金融、金融政策手段、財政、IS-LM、AD-AS、国際経済、経済成長、景気循環、インフレーション、経済学説

- ・ **出題形式** 四択一式50問 (1問10点 500点満点)
- ・ **レベル** マークシート方式の『EREミクロ・マクロ』と同一
- ・ **試験時間** 90分
- ・ **受験料** 4,000円+消費税
- ・ **受験地** ・ 全国約150のPC設置会場 (テストセンター)
* J-Testingの専用サイトから申込み
<http://j-testing.jp/>
・ 当会が認める「認定委託会場」(各大学等)
* 「認定委託会場」で団体受験をご希望の場合は、
日本経済学教育協会 事務局へお問合せください。
Tel : 03-3267-4819 e-mail : info@ere.or.jp
- ・ **試験結果** 即時判定 (得点、結果レポートの表示)

CBT『EREミクロ・マクロ』試験への移行と『ERE』試験の休止について

マークシート方式による経済学検定試験 (ERE/EREミクロ・マクロ) は、第37回試験 (2019年12月1日 (日) 実施) をもちまして終了させていただきます。それ以降は、CBT方式による『EREミクロ・マクロ』試験のみの実施となります。

また、『ERE』試験は、第37回試験をもって、当面の間、休止とさせていただきます。

CBT『EREミクロ・マクロ』大学対抗戦について

「EREミクロ・マクロ」大学対抗戦は、第32回をもって、一旦、休止とさせていただきます。CBT『EREミクロ・マクロ』による実施方法等を、現在検討中です。

— 経済学の学習到達度を測定 —

2019年度 第37回 E R E実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 37 回
試験日	2019年12月1日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2019年10月1日（火）～2019年10月22日（火）〈消印有効〉
受験料	5,000円＋消費税
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R Eミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 37 回
試験日	2019年12月1日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2019年10月1日（火）～2019年10月22日（火）〈消印有効〉
受験料	4,000円＋消費税
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
出題形式	4択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

第32回 E R E ミクロ・マクロ 「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2019年12月1日(日)実施 ●受付期間：2019年10月1日(火)～10月22日(火)〈消印有効〉

●前回まで参加した55校（50音順）

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／岡山商科大学／小樽商科大学／
鹿児島大学／金沢大学／九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／
群馬大学／慶應義塾大学／埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／
創価大学／高崎経済大学／拓殖大学／中央大学／筑波大学（同大学院）／帝塚山大学／
東京大学（同大学院）／東京理科大学／同志社大学／東北大学／東洋大学／
長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／名古屋学院大学／名古屋経済大学／
新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／福岡カレッジ・オブ・ビジネス／
福島大学／北海道大学／北海道教育大学／武蔵大学／武蔵野大学／明治大学／
山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学